

鹿県身障

かんぎぎ 成宜

発行所

社会福祉法人
鹿 児 島 県
身体障害者福祉協会

鹿児島市小野一丁目1-1
ハートピアかごしま3階
電話099-228-6271

発行人 藤田 満
かんぎ 第157号



新年のご挨拶

社会福祉法人
鹿児島県身体障害者福祉協会
会 長 藤 田 満

新年明けましておめでとうございます。
新たな年の初めにあたり、謹んで皆様にご挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃から協会の運営や事業の実施につきまして、深いご理解とご支援を賜っており、厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大により、残念ながら、本県で開催予定であった全国障害者スポーツ大会を始め多くのイベントが中止又は延期を余儀なくされるなど社会経済活動はもとより日常生活にまで大きな影響を受けた1年でした。
当協会においても施設の臨時

休館や「あつたか交流フェスタ」、「障害者ゲートボール大会」等主催事業の開催を見送るなど今まで経験したことのない会運営を強いられました。

このような状況の中、国ではオリパラの開催を契機に「ユニバーサルデザイン2020行動計画」の実施がなされ、今年3月から障害者の法定雇用率が引き上げられ、対象となる事業主の範囲も広がります。県でも「手話言語条例」の制定等々障害者福祉の充実に向けた取組がなされており、障害者を取り巻く環境が着実に向上していることは喜ばしい限りです。
また、県においては今年度、「種から芽が出ようとす状態」

「鹿児島県第6期障害者福祉計画」の策定が予定されています。障害者福祉サービス等の提供体制の確保が総合的かつ計画的に図られることを目的とした計画であることから、当事者団体として障害者の意見が次期計画に反映されるよう積極的にかかわっていく所存です。

鹿児島県障害者自立交流センター及び鹿児島県視聴覚障害者情報センターの管理運営については、引き続き今年4月から5年間、指定管理者として運営を任されることになりました。関係団体とも密接に連携を図りながら施設のより効率的・効果的な事業運営に努めて参ります。

2023年に延期となった全国障害者スポーツ大会（かごしま大会）については、素晴らしい思い出に残る大会となりますよう協力・支援して参ります。
今年度は「種から芽が出ようとす状態」

新しい出発の兆しを表している得、より一層障害者福祉の推進に取組んで参る所存です。本年も皆様のご理解とご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、この1年が皆様にとりまして更なる飛躍の年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

自動検温カメラ設置！

昨年10月、障害者自立交流センター総合受付に、新型コロナウイルス感染症予防対策を目的に赤外線検温カメラを設置しました。これは（公財）JKAの競輪補助事業の補助金を受けて設置したものです。

総合受付前を通るだけで体温測定され、37.5度以上の場合には発光と音声で通知。新型コロナウイルスに限らず、発熱者に対して迅速な対応が可能になりました。体温がモニターに映し出されるので、来館者の健康の再確認にも役立つと考えています。

幸いなことに、現在まで当センターから新型コロナウイルス感染者は確認されていませんが、職員一同、これからも感染対策に取り組み、利用者の安心・安全をお守りできるよう努めて参ります。新型コロナウイルスの収束の見通しはまだまだ見えませんが、体調に留意され、安心して当センターをご利用ください。



かんぎの製作費の一部に鹿児島県共同募金の配分金を充当させていただいています。

令和2年度 鹿児島県障害者保健福祉大会

11月12日県民交流センターにおいて、障害者とその家族等229名が参加し開催されました。
大会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、参加者数を制限しての開催でしたが、塩田鹿児島県知事も出席され盛会裏に開催することができました。

社会福祉功労者に対する知事「動」と題した体験発表は、映像表彰及び団体長表彰に続き、曾での発表となりましたが、ご自身於市の宮田一真さんによる、「ひ身のひきこもりのきっかけや、きこもり体験とピアサポート活 外出できるようになったこと、



その後同じような方に対してのピアサポート活動など、貴重な話を聞くことができました。

次に、「心の輪を広げる体験作文」で最優秀賞を受賞された南九州市立大丸小学校5年生上久保美穂さん、鹿児島市立玉龍中学校3年生高木吾音さん、鹿児島立鶴丸高等学校2年生吉村彩々依さんによる作文の発表が行われました。障害者との交流やふれあいを通して、心のバリアフリーについての理解や感じた思いを率直な言葉で発表されました。

また、手話通訳士の中野佐世子氏をお招きし「心のバリアをはずして」という演題で講演していただきました。福祉に関するシンボルマークについては、障害者に対しての日常の疑問を丁寧に、ご自身でも手話を交えながら説明。聴覚障害者に関わらず、あらゆる障害者の特徴やそれに対する配慮などを挙げて分かりやすく紹介されました。障害がある人同士では相互理解、県民に対しては障害者理解を深める大変意義深い講演でした。最後に、大会宣言が満場の拍手で承認され、大会は幕を閉じました。

【鹿児島県知事表彰者】

・障害者自立更生部門

鹿児島市 春田 ゆかり
鹿児島市 中 蘭 幸 壮
枕崎市 今給黎 正 光

枕崎市 永留 博 美
日置市 有川 光 男
日置市 尾 堂 豊 二
錦江町 櫻井 弘 美
田中 ミチ子

・障害者更生支援部門

鹿児島市 高城 藤 雄
鹿屋市 田 平 榮
西之表市 鮫島 純 男
いちき串木野市 松原 要
奄美市 中 浜 政 則
錦江町 久保 久 志

【鹿児島県身体障害者福祉協会会長表彰者】

・自立更生の部

鹿児島市 梶原 浩 一
鹿児島市 白坂 雅 幸
鹿児島市 橋本 特 子
枕崎市 西村 勝 哉
天城町 岡村 八 郎

・更生支援の部

出水市 植元 春 子
日置市 國分 隆
いちき串木野市 岩見 明 子
いちき串木野市 峯元 昭 夫
始良市 竹田 正 利
大崎町 下井 博 文
中種子町 瀬川 清 尚

第14回鹿児島県身体障害者グラウンド・ゴルフ大会開催
11月6日に鹿児島島ふれあいスポーツランド クレイ広場で開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、様々な大会が中止されている中、野外で実施する本大会を当初予定の7月22日から延期し、各地域の参加チーム数を制限、体温測定や健康チェックなどを実施し開催。鹿児島県及び鹿児島市グラウンド・ゴルフ協会の皆さんに審判の協力をいただくことで、従来2チーム相互審判のところを各チーム単独ラウンドとし、感染予防に努めました。初めは土のコートに慣れず聞こえてきた嘆息も、次第にホールインワンの歓声に。15チームが日頃の練習の成果を発揮し、和やかに大会は無事終了。団体の部は大崎チームが制し、奄美市チームが2位、錦江町チームが3位と続きました。個人の部では、奄美市の吉田玄正さんが37打で優勝。同打数で南九州市Aの井上満二さんが2位、1打差で加世田つわぶきの藤宮博行さんが3位と接戦でした。



燃ゆる感動かごしま団体・大会

令和5年に延期開催

令和2年10月に開催予定だった第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」が新型コロナウイルス感染症の感染拡大により今年度の実施を見送り。後催県との調整の末、令和5年、特別大会として実施されることになりました。

○大会延期への経緯

新型コロナウイルス感染症が全国に拡大した令和2年、3月24日に東京オリンピック・パラリンピックの延期決定につづき、同日31日には、5月実施予定だったリハーサル大会の中止が決定しました。

4月になると全国に緊急事態宣言が発出。その効果で全国的に新規感染者が減り、5月に宣言が解除されるも完全な収束には至りません。この頃から団体・大会を主催する4団体（スポーツ庁、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会、鹿児島県）は頻りにWEB会談を重ね開催の可否を検討。そして6月19日、主催4団体は、令和2年秋に団体・大会を開催せず延期すると発表しました。

この時点で具体的な開催年は決まっておらず、開催内定県や内々定県との調整に入ります。主催4団体は、令和5年開催を

目指すことを確認。その年に開催が内定していた佐賀県や次年度の滋賀県と交渉し、それぞれ1年延期してもらおうよう要請しました。

8月に佐賀県、9月に滋賀県が団体・大会の1年延期を了承したことを受け、10月8日、かごしま国体・大会の令和5年開催が決定しました。

名称は「特別国民体育大会」と「特別全国障害者スポーツ大会」で、大会回数は数えませんが、令和5年10月に開催する方向で最終調整中です。

○多大な影響と課題

台風接近で直前中止になった令和元年の茨城大会に続き、鹿児島大会も見送り。地元開催を目標にしていた選手の多くは落胆しました。開催県枠で全競技出場を予定していた団体競技は、数年前から選手発掘・育成に取り組んできたものの仕切り直し。

令和5年に延期されたとはいえ、選手的生活環境の変化や、年齢区分の変更、モチベーションの維持など、多くの課題が山積しています。

○令和5年の大会に向けて

選手発掘・育成や地域の障害者スポーツ拠点をつくる「障害者スポーツ振興事業」（県障害者スポーツ協会が県から受託し、県身障協会と協力して実施）は、令和2年度で終了予定でしたが、大会延期に合わせ事業延長を要請中。決定すると令和3年度以降も引き続き同事業で本県選手

降も引き続き同事業で本県選手

新カリキュラムでスポーツ指導員を養成



全国障害者スポーツ大会正式競技になったポッチャの実技

○ポッチャ競技の動向に注目

全国障害者スポーツ大会の正式競技で令和2年には無かった競技が令和5年の大会で加わる可能性が有ります。重度身体障害者の競技「ポッチャ」です。パラリンピックの正式競技でもあるポッチャは、ジャックと呼ばれる目標球に赤と青のカラーボールを近づけ得点を競う屋内競技。ボールの投球が難しい四肢麻痺選手が投球補助具（ランプ）を用いた競技アシスタンス

資格が取得できるもので、例年は3日間で行っていましたが、今年度からカリキュラムが大幅に改正。テキストが改訂され講義時間が増えたことにより4日間の日程になりました。新教科も増え、新テキストの執筆者など県外から3名の講師を招聘し、その講義や実技は、フォロワーシップ講習会として有資格者延べ58名が共に学びました。

新教科「コミュニケーションスキルの基礎」では、都立大学の岩瀬裕子先生がインタビュートレーニング実習を通して選手の本音を引き出す極意を伝授。同じく「スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質」

トと連携して自分の意志でプレーするシーンは、まさに究極の障害者スポーツ。全国障害者スポーツ大会では、令和3年の三重とこわか大会から正式競技に採用されます。

延期される前の令和2年に正式競技でなかったことから、ポッチャが令和5年に実施されるかどうか現時点では不透明。スポーツの素晴らしさを県内に伝える絶好の機会になるだけに、その動向が注目されます。

令和3年全国障害者スポーツ大会から正式競技化される実技「ポッチャ」は、福岡県から同競技の公認A級審判員資格を持つ城崎 稔大先生が駆けつけ、ポッチャの基礎を指導しました。

新型コロナウイルスの感染拡大で実施が危ぶまれましたが、受講生とスタッフのマスク着用、換気と消毒の徹底により無事全日程を終了。21名の受講者は指導者登録を済ませ、今後は県内の障害者スポーツを支えてくれます。

令和2年度県障がい者スポーツ指導員養成講習会が、10月24日、25日、11月21日、22日の4日間、ハートピアかごしまであり、21名が受講しました。この講習会は、日本障がい者

令和2年度 社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 賛助会員

次の皆様方に、令和2年度の賛助会員として加入いただきました。ここに感謝とお礼の意を込めて、ご芳名をご紹介します。ありがとうございました。

(順不同 敬称略)

令和3年2月1日現在

Table with 2 columns: 団体名 (Organization Name) and 団体名 (Organization Name). Lists various member organizations such as 公益社団法人昭和会, 社会医療法人緑泉会, etc.

計38法人・団体

パソコンやスマホでお困りごとないですか? プロがマンツーマンで指導します。実施日: 第1・3木曜日(要予約) 時間: 一人概ね1時間

障害者110番. 障害のある方やその家族の相談に応じます。(相談無料) 電話 (FAX兼用): 099-228-6000. メール: soudan110ban@shogaisha-kagoshima.jp

ポータルします。(離島地域は除く。) ※新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止になる場合もございます。【問い合わせ先】 鹿児島市小野1丁目1-1 ハートピアかごしま3階 鹿児島県身体障害者福祉協会 総務課 電話 099-228-6271

令和3年度行事予定. 県身体障害者ゲートボール大会 6月2日(水) 鹿児島市. 第21回全国障害者スポーツ大会 10月23日(土) 25日(月) 三重県. 県障害者保健福祉大会 11月11日(木) 県民交流センター. 第51回九州身体障害者福祉大会 第28回九州ブロック身体障害者相談員研修会 12月2日(火) 3日(水) 熊本市. 「あったか交流フェスタ」 12月5日(日) ハートピアかごしま. 令和2年度 厚生労働大臣表彰受賞(更生援護功労者) 黒木恵子氏. 日本リウマチ友の会鹿児島県支部長 鹿児島県身体障害者福祉協会理事(副会長)